

会津・水の環・再生

一会津若松市における外堀の現況調査と水辺空間の再生提案

a2200608 大竹 南

研究背景

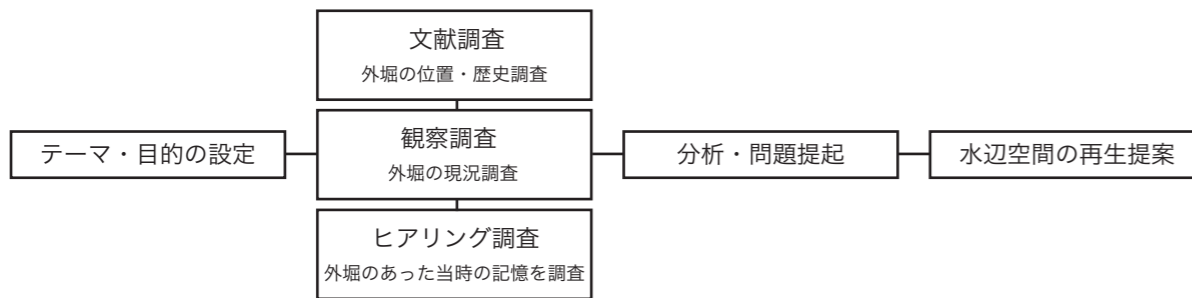
昔はまちなかに水路が流れていて、水路を利用するように集落ができ、まちができていた。人々の生活の営みに水路は無くしてはならない存在であり、そこには水とふれあう人々の姿があった。しかし、今では日本中が車社会になったことにより、このような風情ある水路には蓋がかけられ、車のための道路となってしまう、水の風景や水とふれあっていた人々の姿は消えつつある。

会津若松市には戊辰年代まで外堀があり、まちなかには水の風景があった。しかし、戊辰戦争以降、明治政府によって建物が次々と破却されると同時に、まちなかを通っていた外堀も、耕地化のため次々と埋め立てられてしまった。このとき、会津最大ともいえる水辺空間が消えてしまったのである。

研究目的

消えてしまった会津の水の風景、そして水とふれあう人々の姿を取り戻すため、戊辰年代まで存在していた外堀の現況調査をし、かつての水辺空間であった外堀が、現在どのような状況になっているのか、当時の痕跡を認めることができるのか、人々の記憶や伝承にはどのように伝えられているのかを調べ、もともと市内を環状に結び付けていた水辺空間を再生する提案を行い、水辺の風景を取り戻したいと考える。

研究方法



調査結果

□観察調査

観察調査では、外堀のあった戊辰年代の地図をもとに、現在の住宅地図に外堀の位置を当てはめ、現在外堀の痕跡が残っているか、どのような状況になっているのかを調査した。調査の結果、外堀の通っていたと思われるところのほとんどは、道路や建物、住宅が建ち並び、外堀がもともと存在していなかったように思える状況であった。しかし、観察調査を行ったことにより、現在ある道路のほとんどは外堀の流れに沿って出来ているということがわかった。



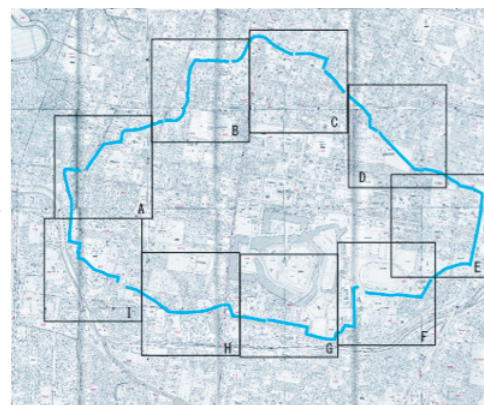
池として残されているもの



現在も外堀が存在しているもの



土塁として残されているもの



観察調査・ヒアリング調査は9つのエリアに分け調査を行った。

□ヒアリング調査

ヒアリング調査は9つのエリアに分け調査を行った。各エリアの調査件数は以下の通りである。

調査エリア	調査件数	調査エリア	調査件数
A	4	F	1
B	2	G	3
C	1	H	4
D	2	I	1
E	2		

現在では外堀のことについて記憶している方は少なく、また外堀が自宅のある場所を通っていたことすらわからないという方も多くいた。ヒアリングをしていく中で、詳しく知っていた方はすでに亡くなっているということも何度か聞いた。調査は外堀のことについて記憶していると思われる70~80代の方を中心とし、ヒアリングを行った。

ヒアリング調査をしていく中で、外堀はさまざまな形で痕跡が残されていることがわかった。もとの幅よりも狭くなってしまったが、外堀が現在も存在しているもの、池として残されているもの、土塁として残されているもの、駐車場のコンクリートで、外堀の通っていた部分だけ色が変わっているもの、外堀の存在が看板で説明されているもの。外堀の曲がり角にはケヤキの木があるというルールがあり、ケヤキの木の下に水路があり水が流れているもの、など。このように、外堀の痕跡は少しではあるが現在でも残されている所があった。また、ヒアリング調査では、外堀のことだけでなく昔の会津の歴史、当時の街の様子、調査に協力して下さった方の幼少の頃のお話などを聞くことが出来た。「幼い頃はよく姉妹と練兵場でままごとをしました。」「昔はこの通りに桜の木がたくさんあって、春になるときれいに咲いていました。」「家の脇を通る外堀に、ドジョウやフナが泳いでいて、時々お城から鯉が流れてくることもありました。」「西出丸にはボート屋があって、そこでよく友達とボート漕ぎをしに行きました。」など。これらの話から昔の会津の風景を知ることが出来た。



跡の部分の色が変わっているもの



ケヤキの下の水路



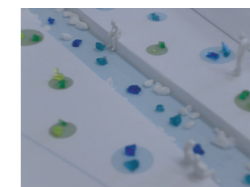
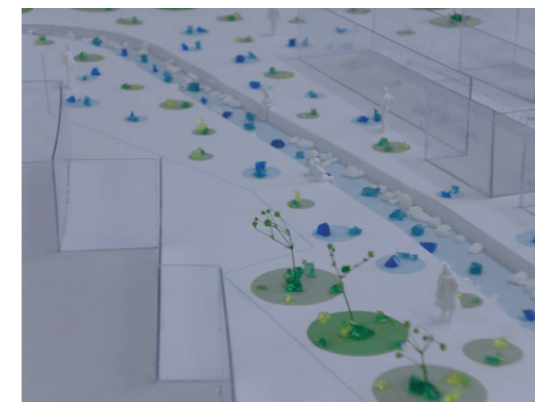
外堀の流れに沿った道路

分析・問題提起

今回の調査の結果から、外堀について記憶している方は80~90代の方であり、60~70代の方は親や知り合いから聞いたことはあるが、当時のことはわからないという方がほとんどであるということがわかった。このことから、外堀について記憶している方がほとんどいなくなっていることがわかった。あと10年もすれば、会津に外堀があったことを知る人はいなくなってしまうであろう。しかし、会津に外堀が存在していたことは事実であり、その事実を知る人が少なくなっている今、調査結果を活かし、会津に外堀が存在していたことを伝えていくべきなのではないかと考える。

水の環・再生提案

外堀のことについて記憶している人が少なくなっている今、調査結果をもとに会津の人々に外堀が存在していたということ、外堀について知ってもらえることのできるデザインを、外堀の痕跡を辿ることができ、会津の歴史的意味を伝えていくことができるような形で提案する。



野口英世青春広場イメージ

